

岡山っ子育成条例

「自立」する子ども

豊かな人間性

自分を高める

共に生きる

学校教育目標 一人一人が輝き 元気の出る学校

めざす子ども像

- 自分で考え判断できる、自立した子ども
- 向上心をもって取り組む、基礎学力を身に付けた子ども
- 人とのかかわり合いを大切にした、思いやりのある子ども

指導の重点

- 1 自分で考え判断できる力の育成
 - ・課題解決な学習の推進と生活科・総合的な学習の時間の充実
 - ・児童会活動、縦割り班活動の工夫
 - 2 教科指導の工夫、改善と充実
 - ・個に応じた指導と基礎的、基本的な内容の定着の工夫
 - ・磨き合い高め合う楽しさを感じる授業づくりの工夫
 - 3 人の思いを大切にする態度の育成
 - ・道徳時間の充実と基本的生活習慣の確立
 - 4 自然と地域の教育力を生かした特色ある取り組みの充実
 - ・豊かな自然と地域の温かい人間関係を生かした
体験・交流活動への取り組み
- ・他校園との連携と交流
小・中で連携できる内容を精査しながら、小・中合同で一歩ずつ連携を深めることで、児童生徒の教育的効果を高める。
 - ・国際理解教育 芸術文化事業の推進
 - ・情報化社会に生きる情報活用能力の育成

参加・参画

情報公開

家庭

- ・家庭の愛情のなかで、生活習慣及び社会規範を身につけ、豊かな人間性を育む。

地域

- ・多様な体験及び様々な人や自然とのふれあいをとおして、豊かな人間性や、ふるさとを大切に思う気持ちを育む。